

同時進行型



石川県中能登町立鳥屋小学校
布川 かほる

実践テーマ

児童が考える根拠を示すために資料を実物投影機で取り込み、拡大提示する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 前時に考えた未来の自動車を電子黒板上に提示し、消費者として自動車に求める視点をふりかえる。(興味・関心を高める)
- 〈展開〉 自動車会社が開発するときの視点について、自分の考えの根拠となる資料を電子黒板上に提示しながら児童が説明し合う。(理解を深める)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた消費者として未来に欲しい自動車を提示し、学習を振り返る(静止画①)。 ・本時の課題をつかむ。 	●児童のワークシート
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・考えをキーワードにまとめ、黒板に提示する。 ・児童が見つけた考えの根拠となる資料をPCに取り込む。 ・拡大提示、丸で囲むなどしながら、考えを説明する(静止画②)。 	●資料(自動車パンフレット)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の開発の視点をまとめる。 	



児童のワークシートを電子黒板上に提示し、振り返りを行う



資料を提示しながら、考えを説明する

児童の反応・効果

- ・ワークシートを提示したことで、前時のまとめを短時間で思い出すことができた。
- ・他の児童が持っていない資料(パンフレット)を拡大提示することで、クラス全員で確認することができ、説明していることを共通理解できた。

活用のポイント

- ・実物投影機を使うことで、児童が自分で説明に使いたい資料を、その場ですぐに取り込んで電子黒板上に映し出すことができる。
- ・詳しく説明したいところに印をつけ、拡大して提示することで共通理解しやすくなる。